

# 羽ばたけ 大空へ

財団  
月報



## チャレンジ

公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

理事長 風呂井 敬



編集・発行／  
公益財団法人 鹿屋体育大学  
体育・スポーツ振興教育財団  
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地  
鹿屋体育大学内  
0994-46-4827 (直)  
編集兼発行人 風呂井 敬

て、地域一体型モデルの創設を目指すものとなります。地域・大学が一体となり大学スポーツ振興のモデルを提案する「KANNOYA モデル」は、全国にアピールできる事業と考え、当財団として協力していきたいと考えております。

る奨学金の給付等を行うとともに、鹿屋体育大学における体育・スポーツの振興と競技力の向上に資する事業を展開し、併せてスポーツクラブの育成など地域スポーツの振興並びに国民の健康及び体力の増進に寄与することを目的とした事業を行っていくこととしております。



皆様、あけましておめでとうございます。

旧年中は、当財団の運営に對しまして皆様方からの温かいご支援、ご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、当財団は、公益財団法人として、鹿屋体育大学の教育の振興に資するために必要な助成、体育・スポーツ活動において優れた成績を収めた学生及び競技団体に対する

奨学金の給付等を行うとともに、鹿屋体育大学における体育・スポーツの振興と競技力の向上に資する事業を展開し、併せてスポーツクラブの育成など地域スポーツの振興並びに国民の健康及び体力の増進に寄与することを目的とした事業を行っていくこととしております。

この度、スポーツ庁は大学スポーツの発展と大衆スポーツの持つ可能性を広げることを目的として、日本版NCAAの設立に向けた事業を始動させました。大変喜ばしいこと、鹿屋体育大学はこの事業を展開する全国8大学の1つに選ばれました。その事業内容は鹿屋体育大学が大学内のみのブランドではなく、地域を巻き込んだかたちで鹿屋市と共同でスポーツ・健康をキーワードにした「KANNOYA モデル」と称し



## 大学スポーツの発展に向けて

国立大学法人鹿屋体育大学

学長 松下 雅雄



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は鹿屋体育大学を応援、ご支援いただきました。誠にありがとうございます。

平成30年は干支の十一番目である戌年になります。戌年は犬の親しみやすい性格やお産が軽いことから、おめでたい意味を持ち、また、前向きに地道な努力を重ねることにより、成長する年になるそうです。この平成30年に、国策として大学スポーツの振興をつかさどる組織、日本版NCAAが設立される予定です。

NCAAとは全米の大学横断的かつ競技横断的の総括組織で、日本の大学には現在このような組織はありません。

自民党スポーツ立国調査会の「大学スポーツの発展に向け、大学スポーツの潜在力の活性化と

そのための課題整理が必要」の提言をうけ、平成28年4月に文部科学大臣、スポーツ庁長官、全国スポーツ系大学協議会会長、全国大学体育連合会会長らを委員とする「大学スポーツの振興に関する

そのための課題整理が必要」の提言をうけ、平成28年4月に文部科学大臣、スポーツ庁長官、全国スポーツ系大学協議会会長、全国大学体育連合会会長らを委員とする「大学スポーツの振興に関する

る検討会議」が発足しました。

その会議で、大学スポーツを振興すること、国民の健康や地域の活性化等に資する可能性を持つこと、そして、大学はそのための人材資源（アスリートや指導者）、施設などの資源を持つことが確認され、具体的な事業に取り組みには、NCAAのような組織を設ける必要があるとの結論になりました。

また、現在の大学スポーツにおいては、運動部活動と学業の両立、スポーツ事故・事件への対応、運営責任体制、会計制度などマネジメント体制の確立が課題である、と指摘してまいりました。

それらを受け、平成29年9月から日本版NCAA A創設に向けたスポーツ庁の学産官連携協議会において、「学業充実」、「安心して」、「安全」をキーワードとして「マネジメント」の3つのワーキングによって検討が進められ、平成30年度中に日本版NCAAが設立される運びとなりました。

一方、スポーツ庁は平成29年度に大学スポーツの活性化に取り組む大学に対し、モデル事業の募集をしました。鹿屋体育大学は「地方型大学スポーツの振興に関する

そのための課題整理が必要」の提言をうけ、平成28年4月に文部科学大臣、スポーツ庁長官、全国スポーツ系大学協議会会長、全国大学体育連合会会長らを委員とする「大学スポーツの振興に関する

## わかくこ

11月12日の蒼天祭(学園祭)開催時に大学開放事業として開かれたスポーツパフォーマンス研究棟の見学・体験ツアーに携わる機会があった▼

これまで、鹿屋体育大学に勤務している身でありながら、恥ずかしながらスポーツパフォーマンス研究棟における測定を実際に見る機会が無かったため、当日は業務とはいえ実際の測定の様子を見られることにわくわくしていた▼見学・体験ツアーが始まると市民の方や本学の学生・職員がスポーツパフォーマンス研究棟を訪れている最先端の設備による様々な測定を体験していた。私は体験に訪れた方が様々な測定を行って

いる様子を見ることで、スポーツパフォーマンス研究棟における実際の測定の一瞬を知るとともに、フォーカスプレート、ハイスピードカメラなどの研究棟内の最先端の設備に関する説明を聞くことができ、大変良い機会となった▼鹿屋体育大学に勤め始めて7年ほどになるが、今回のスポーツパフォーマンス研究棟における測定がそうであったように、大学内にはまだまだ私の知らないことが多くあるように思う。せっかく大学の一人として働いているのだから、これからは学内の様々な施設や設備をより深く知るとともに、本学に関する情報を学生や地域の方々に何らかの形で還元できるようにしたいと思っ

た次第である。(M・T)

あなたと一緒に。

来る日も来る日も、練習に打ち込んできた。

何度か度々、困難な壁を打ち破ってきた。

そんなあなたを、誰より一番近くで見つけてきたから。

あなたがあんなに涙した理由も、あなたがあんなに笑顔を見せた理由も、わたしにはわかる。

成功の陰に失敗は尽きない。それでも。

明日は、きっと、できる。

そうあなたが自分を信じて

わたしを手にする限り、

あなたと一緒に挑み続けたい。



自転車競技部

# 橋本優弥さんWBC団体追抜 日本新で銅メダル!

11月10日〜12日、自転車競技の2017-18トラックワールドカップ第2戦がマンチエスタール（イギリス）で行われ、鹿屋体育大学自転車競技部の橋本優弥さん（スポーツ総合課程2年）がメンバーとして出場した日本チームが、女子4km団体追抜で銅メダルを獲得しました。

「団体追抜」は4名で構成されたチームが、ホーム側とバック側から同時にスタートし、空気を抗を軽減するため先頭を交代しながら4kmを走り、相手チームを追い抜くかタイムで勝敗を決める種目です。

日本チームは、予選で日本記録を大幅に更新する4分27秒329（これまでの日本記録は4月の世界選手権香港大会で橋本さん等が作った4分34秒362）を記録し3位通過しました。本戦でも快走し、嬉しい銅メダル獲得となりました。

橋本さんは「10月から外国人コーチの指導が始まったばかりの初レースでメダルが取れて嬉しい。今回の成績が偶然だったと言えないように、これからも精進し進化を続けたい」と喜びを語りました。



写真中央が橋本さん(Photo:KEIRIN MAGAZINE)

自転車競技部

# 中井彩子さん全日本オムニウム選手権 準優勝!

11月18日、伊豆ペロドローム（静岡県）において2017全日本自転車競技選手権オムニウム大会が開催され、女子エリートに出場した鹿屋体育大学自転車競技部の中井彩子さん（スポーツ総合課程3年）が、準優勝を果たしました。

「オムニウム」は、トラック競技4種目（スクラッチ、テンポレース、エリミネーション、ポイントレース）を一人で走り総合得点を競う複合種目です。

3種目を終え暫定4位で最終種目のポイントレースに挑んだ中井さんは、得意とするこの種目ではトップとなったものの、総合優勝には届かず準優勝が最終順位となりました。

中井さんは「ワールドカップでメダルを獲得したメンバーが出場していないため、勝ちたかったが、力及ばず。冬場に強化して学生最後のシーズンをブレイクしたい」と厳しい表情でレースを振り返りました。



# スロベニア柔道ナショナルチーム 鹿屋体育大学を視察 合同練習実施

12月8日、鹿屋体育大学と鹿屋市で連携する「東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ専門委員会」における「東京五輪・パラリンピック事前キャンプ地誘致事業」の一環として、4日間の日程で鹿屋市に滞在したスロベニア柔道ナショナルチームが鹿屋体育大学を訪れ、練習環境等の視察を兼ねて同大学の授業を受講しました。

スロベニアは、04年アテネから16年リオ五輪まで4大会連続してメダルを獲得するなど柔道強豪国で、世界一厳しい練習をしている国とも言われています。

選手団一行は、鹿屋体育大学学長ら役員の表敬訪問、同大学内のトレーニング施設の見学を行った後、専攻科目の「柔道」を受講。英語で通訳のできる同大学生を介してきた護身術「講道館柔道『極の形』」の演武示範や攻防方法の説明等、友好的な交流の時間が取られました。

次いで、実践的稽古である「乱取り」が行われ、17年世界選手権で活躍した海外強豪選手らとの激しい練習に、練習相手となった学生は「力が強い」「技はもとより勢いや勝ちへの気迫がすごい」と述べるなど、緊張感ある充実した合同練習となりました。

なお、授業終了後には、前田明教授を中心としたSP棟スタッフの協力の下、ハイスピードカメラでスロベニア選手一人一人の「得意技」を撮影・視聴後、濱田初幸教授（1996年アトランタ五輪女子柔道コーチ）による動作分析がなされ、技術指導が実施されました。

今回の視察訪問は、競技力の向上のみならず、異文化交流にも繋がる有意義な事業となりました。2020東京五輪・パラリンピック事前キャンプ地として、鹿屋市が選定されることが期待されます。



「極の形」を通じた交流



ハイスピードカメラでの映像確認

# 健康セミナーを開催

12月7日、鹿屋体育大学水野講堂において、平成29年度健康セミナーが開催されました。

このセミナーは、学生生活を健康的に過ごしてもらうため、自分の健康状態、健康管理についてあらかじめ意識させ、実践的な指導を行うことを目的に、毎年開催されており500名を超える学生が参加しました。

同大学スポーツ生命科学系の藤田英二准教授による「ストレッチングについて」と題した今回の講演では、ストレッチングの種類やその効果、ストレッチングを行う上で実践の場面では、効果を実感した参加者から納得の歓声が上ること。

ポイントなどについて、わかりやすく話され、ストレッチングを行う重要性を体験できた有意義なセミナーとなりました。

ストレッチングは疲労や怪我からの回復に有効で、毎日やるのが大切であり、また姿勢や手足のポジションニングを変えておくことで効果が変わってくるため、自分の体と対話しながら行ってほしいとのこと。



実践する参加者

# 「金メダリストによるゴールボール 体験教室&講演会」開催

11月25日、鹿屋体育大学にて「金メダリストによるゴールボール体験教室&講演会」が開催されました。この事業は鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程2年平野敬太さんが2020東京五輪・パラリンピック開催に向けて、学生主体の企画運営を通じボランティア学生のボランティア教育の理解と子ども達への指導演習を実践的に学ぶことを目的に、地域の子ども達への体験授業として企画立案したものです。

講師には、2012ロンドンパラリンピックで金メダルを獲得した安達阿記子選手（リーフラス（株））をお招きし、地域の小中学生をはじめとして約50名が参加。不遇に見舞われながらも夢を叶えてきた実体験の講演の後、参加者は目隠しをされる鈴の音をたよりにキャッチする難しさを体験しました。

「音だけを頼りに動くのは難しく、初めは不思議な感覚だったけど、最後は楽しかった」と満足気な参加した子ども達を横目に、企画運営を行った平野さんは、「事業を行うことの難しさを今回まずは身を以て知った。良い経験にして次に繋げたい」と自分に厳しく振り返りました。



子どもらとの集合写真  
(前列右から3人目が安達さん)

体験の様子

大型二種免許から  
大型二輪免許まで  
取得可能です

送迎バスも  
ご利用できます

入校日  
毎週水曜日・土曜日  
AM 8:30~9:00  
PM 1:00~1:20

〒893-0057  
鹿屋市今坂町10115番地  
TEL(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL  
鹿屋自動車学校

鹿児島県公安委員会指定

すべての消費者のために!!

MOVE  
It's your Future  
寿スポーツ  
BE FIRST

鹿屋市礼元1丁目3番5号  
TEL 0994-44-2123

バス  
鹿屋市  
農業高校  
R269  
寿自動車学校  
ドラッグイレブ

寿スポーツ

汲取の御注文  
浄化槽の管理

水質保全に  
全力投球

株式会社 西日本浄化サービス  
代表取締役 田中ふみ子  
鹿屋市王子町4531-2  
TEL(0994)43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま  
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1  
0994-42-2181

### 「学長と指導教員、留学生との懇談会」の開催

鹿屋体育大学では、12月6日、「学長と指導教員、留学生との懇談会」を開催しました。この会は、同大学に在籍中の留学生の勉学や研究状況、悩みや疑問を教職員へ伝えることで、より良い留学生生活を送れるように毎年開催しているものです。

留学生からは、「課外活動後の夜の学生食堂は、総菜の売り切れが多く残念」「スポーツボランティア活動のため鹿児島市内に行きたいが、自家用車が無いため交通費がかさむ」など悩みの声があがる一方、「鹿屋



市行事へ参加し、市民との交流が充実している」「今は研究活動が順調に進み、悩みはない」などの好意的な意見もありました。

これまでの懇談会では、すぐに大学が対応できるものも多く、留学生にとって学長を始めとする教職員と直接話せるこの懇談会はとても有益な機会となっていました。

また、試合の合間には同大学サッカー部員によるサッカークリニックが行われ、大学生が中心となって子どもたちにサッカーの技術と練習方法を指導。参加した子ども達は大変な喜びを表現していました。

### 外国人留学生支援交流会を実施

鹿屋体育大学では、11月24日、外国人留学生支援交流会を実施しました。今年、学部4年の陳泰之（台湾）さんが司会進行を務め、留学生から参加者へ覚えておきたい作法やお茶を振る舞ったり、日頃お世話になっている方々と一緒に食事をしながら感謝を伝えるなど、交流を深めていきました。自己紹介では、多くの留学生が「今日の茶道体験が興味深かった」「異国での

生活はなかなか慣れてませんが楽しい」と、片言の日本語を上手に使いながら発表し、大いに盛り上がりました。

第1部の「日本文化体験」で留学生は、日本文化に対する理解を深めるために「茶道」を体験。講師の茶道裏千家鹿屋同好会の和田喜美子氏から、茶道具や所作の説明を受けた後、同好会の皆さんに教わりながら抹茶を点てました。短時間ながらもお茶を振る舞う側の思いやりやその心配りを感じていただくこと、一期一会を大事にお茶を楽しむことを学びました。



### 学長杯サッカー大会が開催されました！

11月23日、鹿屋体育大学ホッケー場、ラグビー場を会場に、鹿屋体育大学学長杯サッカー大会（第23回大隅地区少年サッカー大会及び第10回大隅地区キッズサッカー大会）が開催されました。

この大会は、大隅地区のキッズ・少年との交流を通じて、サッカーの発展と普及を図り、また、体力と精神の鍛錬の機会となることを期待するとともに、大会運営を通して大学生の指導力を向上させることを目的としています。

大会には、U-12に16チーム、U-9に12チームの約350名が参加。子どもたちは、指導者、保護者、チームメイトの声援を受けながら、必死にボールを追いかけていました。

	U-12	U-9
優勝	太陽SC鹿屋	SOLTIERA
準優勝	ARTIERE	NIFS KANOYA FC
3位	A.S.K NST	寿SSS 東申良SSS



サッカー部員のクリニックの様子

### 防災訓練を実施

鹿屋体育大学では、11月22日、防災体制の徹底、自衛消防組織における各班の任務確認、役職員及び学生への防災意識の高揚を図るなどの目的で、防災訓練が2部構成で行われました。

1部は、災害時緊急電話連絡訓練。午前6時50分に大型地震が発生したと想定し、緊急時電話連絡網に基づく電話連絡による安否確認を行う訓練が行われました。午後に行われた2部の震災・消防訓練は、地震により火

災が発生したと想定して開始。雨天により一部の訓練は実施できませんでしたが、総務班、消火班、搬出班、工作班、警備班に分かれ、火災現場確認、



訓練の様子



消火器の取扱い説明

通報、構内放送による周知と避難指示、自衛消防本部が設置された水野講堂への避難・集合などが行われました。

訓練後には消火器の取扱説明も行われ、全学での防災意識の向上を図る良い機会となりました。

### 課外活動団体紹介



サッカー部

1984年4月、第1期生となる学生の入学と同時にサッカー部は誕生しました。当初の部員はたったの6名。ラグビー部や野球部など他の部員を借りて大会に出場していました。しかし、井上尚武監督の熱血指導と部員の努力の甲斐あって、創部からわずか3年で九州リーグに昇格し、1年目に九州リーグ3位という華しいデビューを果たしました。その後、1991年に九州リーグで初優勝すると、1997年まで7年連続リーグ制覇という偉業を成し遂げ鹿屋体育大学サッカー部の地位を確実なものとなりました。また、1994年の総理大臣杯ではチーム最高位の準優勝という結果を残し、全国に鹿屋体育大学の名を轟かせました。

現在は青木竜監督のもとチームを3つに分け、それぞれ九州大学リーグ、九州社会人リーグ、鹿児島県社会人リーグに参加し、「部員全員が試合に出場できる機会」を設け、技術力向

上・チーム力向上を目指しています。また、「スポーツの芽を育てる」社会貢献活動を積極的に行い、小学生向けや園児向けのサッカー大会の開催、幼稚園や保育園等を回り園児に体を動かす楽しさを伝える巡回指導を行っています。

これまでプロ選手（Jリーグ）をはじめ、JFL、地域リーグに数多くの選手を輩出すると同時に、「Jリーグチームスタッフや下部組織コーチなどのサッカー関係やスポーツインストラクター、学校教員、大手企業などさまざまな分野で活躍するOBも輩出してきました。

鹿屋体育大学サッカー部の歴史の中に「全国優勝」の文字だけが刻まれています。私達は応援して下さる方々に感謝し、全国大会で良い結果を残し鹿屋という名をより多くの人に知ってもらうために「全国優勝」を目標に掲げ日々努力と工夫を重ね『勇往邁進』します。

**寿自動車学校**

自宅・アルバイト先 ← DIRECT! → 自動車学校 ← DIRECT! → 学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う  
**運転免許のことなら 寿自動車学校**

ご予約・お問い合わせ **TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp**

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除) ホームページURL: http://kotobuki-ds.jp

まっすぐに。正直に。

**大 海**

**大 海 酒造株式会社**

〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号

電話 (0994)44-2190 FAX (0994)40-0950

- 未成年の飲酒は法律で禁じられています。
- 健康の為、飲み過ぎに注意しましょう。
- 妊娠中、授乳期の飲酒はお控えください。
- 飲酒運転は絶対にやめましょう。

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。

心から感謝申し上げます。

《一般》

カイコー(株)様 (三万円)

# スポーツパフォーマンス研究棟だより

第11回

## 「可動式カメラ架台を使用した測定」の紹介(亀田麻依特任助教)

可動式カメラ架台は、測定エリアの天井部に取り付けられており、任意の場所にカメラを設置することが可能です。これまでの測定では、三脚を設置するためのスペースを確保すること、測定邪魔にならない位置にカメラを設置することが必要でしたが、可動式カメラ架台を用いることでカメラの設置位置を気にすることなく測定することができま

写真は、「産学官連携によるスポーツ合宿まちづくり推進事業」の一環で、プロゴルフツアーのスイング動作を測定した時の様子です。選手からの希望により、前方と側方からのハイスピードカメラの撮影に加えて、上方からも撮影(可動式カメラ架台を使用)しました。また、撮影した映像をモニターに映し出すことで、選手は動きを確認しながら測定を行いました。このモニターには、8×2.2mと4×2.2mの大型モニター1



可動式カメラ架台 丸印がカメラ



可動式カメラ架台から撮影した映像をモニター(丸印)に投影

## 国立大学施設初！プロバスケットボール公式戦開催！

12月2日～3日、鹿屋体育大学体育館でB3リーグ公式戦「鹿児島レブナイズvs東京サンレヴス」が開催されました。国内初の国立大学施設でのプロバスケットボール公式戦となったこの試合は、スポーツを通じて地域活性化を目指す「日本版NCAA」「KANON Y Aモデル」の取組の一つとして、地域の方々へスポーツを観る体験を提供することを目的として実現したもので、11月に開催したサッカー応援イベントでも配布された青い応援Tシャツが無料配布され、ホーム開催の応援に花を添えた観客席からは、めまぐるしく走り回る選手のシュートやブ

ロックが決まる度に、大きな歓声と拍手が沸き起こりました。また、1日目には鹿屋市PR特命係長のかやカンパチウらが駆けつけ、カンパチダンスで会場を盛りあげ、2日目は、同大学松下雅雄学長による始球式を実施。さらに、両日とも希望する子ども達によるフリースロー体験が行われ、プロバスケットボール公式戦のコートでの体験に、子ども達は目を輝かせてシュートを放っていました。



2日間とも観戦にきたという観客は、「昨日の勝利を目前で観られて楽しくて今日も来た。Tシャツを皆で着て応援したのも楽しかった」と語

## 宮崎大学と連携協定を締結

鹿屋体育大学では、平成25年度から体育学・スポーツ科学分野における大学院教育(博士後課程)の充実のために、体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラムの検討を開始し、平成26年3月20日に鹿児島大学及び熊本大学と連携協定を締結し、体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラムを実施しています。

今回、平成29年11月9日に新たに宮崎大学と連携協定を締結し、更なる大学院教育の充実に取り組んでいます。



左から宮崎大学添田教育学部長、鹿屋体育大学森学長補佐、宮崎大学幸大学院教育学研究科長

## 学生食堂でカレーフェア開催

11月28日～30日の3日間、鹿屋体育大学学生食堂で「カレーフェア」が開催されました。このカレーフェアは、開催を楽しんでいる学生も多くいる人気イベントで、今年で5年目。毎年好評の神田カレーグラブも獲得したこのあるカレー、つけ麺の元祖大勝軒が作った秘伝のカレー、大きなカツがのった金沢風カツカレー、井が日替わりで登場し、食欲をそそる「カレー」の香りに誘われた学生や教職員で行列のできた3日間でした。

また、29日には、エスビー食品協賛の無料イベント「カレー粉手作り体験」も行われ、参加者は並べられたスパイスを思い思いにブレンドし、自分好みのカレー粉を作って持ち帰りました。



入り回からの行列

- ### 学内行事 2月
- 3日 公開講座「バレーボール・ウィンター・キャンプ」(～4日) 東京 SC 公開講座「逃すな! 発育発達期!! 知っておきたいジュニア期の食事」
  - 5日 期末試験 (～9日)
  - 13日 競技成績報告会
  - 14日 学生リーダーズセミナー
  - 25日 一般入試・私費外国人留学生入試(～26日)

- ### 闘いのスケジュール 2月
- 3日・第38回九州カップ水泳競技大会 (～4 福岡/総合西市民プール)
  - 8日・第37回アジア自転車競技選手権大会(ロードレース) (～12 ミャンマー/ネービード)
  - 9日・きららカップ2018(水泳) (～11 山口/山口きらら博記念公園水泳プール)
  - 16日・第37回アジア自転車競技選手権大会(トラックレース) (～20 マレーシア/ニライ)
  - 17日・第34回コナミオープン水泳競技大会 (～18 東京/東京辰巳国際水泳場)
  - 24日・第13回長崎県春季招待記録会(水泳) (～25 長崎/長崎市民総合プール)
  - 未定・第18回錦江湾ボードセーリング大会(ウインドサーフィン) (未定 鹿児島/錦江湾)

- ### 闘いの記録 11月
- 【テニス】 ◆平成29年度全日本学生室内テニス選手権大会(2017/11/26～12/3 大阪/江坂テニスセンター)
    - ▽女子 シングルス ベスト8 今村 風沙
  - 【女子バレーボール】 ◆第64回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会(11/28～12/3 東京/大田区総合体育館他)
    - 4位 鹿屋体育大学
  - 【女子バスケットボール】 ◆第69回全日本大学バスケットボール選手権大会(11/28～12/3 宮城/カメイアリーナ仙台)
    - 4位 鹿屋体育大学
  - 【サッカー】 ◆第32回九州大学サッカーリーグ(4/15～11/26 九州内各会場)
    - 1部リーグ 2位 鹿屋体育大学
  - 【体操競技】 ◆第60回九州学生体操競技新人大会(11/11～12 佐賀/佐賀県総合体育館)
    - ▽男子 団体総合
      - 1位 鹿屋体育大学A
      - 3位 鹿屋体育大学B
      - 個人総合 1位 杉野 正克

- 種目別 跳馬 1位 長谷川 瑞樹 2位 杉野 正克
- 種目別 あん馬 1位 杉野 正克 2位 西之原 佑奎
- 種目別 平行棒 1位 杉野 正克 2位 上田 直樹
- 種目別 吊り輪 2位 長谷川 瑞樹
- 種目別 鉄棒 1位 原口 幸大 2位 杉野 正克 3位 中谷 至希
- ▽女子 種目別 平均台 1位 山下 優美
- ◆2017チャレンジカップコト布斯大会(11/23～26 ドイツ/コト布斯)
  - ▽男子 種目別 ゆか 7位 長谷川 瑞樹 種目別 跳馬 8位 長谷川 瑞樹
  - ◆第71回全日本体操競技団体選手権大会(11/26～27 群馬/高崎アリーナ)
    - ▽男子 団体 4位 鹿屋体育大学
- 【水泳】 ◆FINAスィミングワールドカップ2017東京大会(11/14～15 東京/東京辰巳国際水泳場)
  - ▽男子 1500m自由形 16位 小林 祐馬
- 【柔道】 ◆平成29年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会(11/11～12 千葉/千葉ポートアリーナ)
  - ▽女子 70kg級 ベスト8 牧田 朱加
  - ◆第14回湊谷杯全国学生柔道大会(11/18～19 石川/松任総合運動公園)
    - ▽男子 73kg級 3位 小林 礼弥 100kg超級 1位 工藤 祐輝
    - ▽女子 70kg級 ベスト8 塔本 葵葉
  - ◆第67回九州地区大学体育大会(11/25～26 福岡/北九州市立若松武道場)
    - ▽男子 団体 2位 鹿屋体育大学
- 【剣道】 ◆第65回全日本剣道選手権大会(11/3 東京/日本武道館)
  - ▽男子 8位/優秀選手賞 真田 裕行
  - ◆第36回全日本女子学生剣道選手権大会(11/12 愛知/春日井市総合体育館)
    - 団体 2位 鹿屋体育大学
  - ◆第67回九州地区大学体育大会(11/26 福岡/九州国際大学)
    - ▽男子 テクノ293クラス
      - 1位 穴見 知典
      - 2位 土屋 篤志
      - 3位 今井 敦暉
- ◆2017年度全日本学生ボードセーリング選手権(個人戦)(11/12～15 沖縄/宇間海岸沖)
  - ▽男子 テクノ293クラス
    - 5位 由里 亮太
- ▽男子 団体 1位 鹿屋体育大学
- ▽女子 団体 1位 鹿屋体育大学
- 【自転車競技】 ◆2017-18トラックワールドカップ第2戦(11/10～12 イギリス/マンチェスター)
  - ▽女子 団体 3位 橋本※(日本) ※は他団体選手との出場を示す。
  - ◆第29回ツール・ド・おきなわ2017(11/12 沖縄/沖縄本島)
    - ▽女子 女子国際ロードレース100km 3位 中井 彩子
  - ◆2017全日本自転車競技選手権大会 オムニアム(11/18～19 静岡/伊豆ベロドローム)
    - ▽女子 エリートオムニアム 2位 中井 彩子
- 【なぎなた】 ◆第42回西日本学生なぎなた選手権大会(11/19 大阪/熊取町立総合体育館)
  - 演技競技 2位 三浦・北
  - 試合競技(団体) ベスト4 鹿屋体育大学A
  - 試合競技(個人) 3位 三浦 里帆
- 【セバタクロウ】 ◆第3回全日本セバタクロウビギナーズカップ(11/25 埼玉/アスカル幸手)
  - ▽男子 2位 鹿屋体育大学
- 【ウインドサーフィン】 ◆住吉浜CUP 2017(11/3～4 大分/住吉浜リゾートパークシルバービーチ、同沖合)
  - ▽男子 ナショナルホイルボードクラス
    - 1位 穴見 知典
  - テクノ293クラス
    - 1位 穴見 知典
    - 2位 土屋 篤志
    - 3位 今井 敦暉
- ◆2017年度全日本学生ボードセーリング選手権(個人戦)(11/12～15 沖縄/宇間海岸沖)
  - ▽男子 テクノ293クラス
    - 5位 由里 亮太

## 平成29年度 卒業式・修了式のご案内

**卒業式・修了式**  
 日時:平成30年3月23日(金) 10時30分～12時00分  
 会場:鹿屋体育大学水野講堂

**卒業生等懇談会**  
 日時:平成30年3月23日(金) 12時20分～13時10分  
 会場:学生会館学生食堂(鹿屋体育大学内)  
 主催:国立大学法人鹿屋体育大学  
 (公財)鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団